



島嶼産業研究会

会報

第 24 号 2022 年 6 月 7 日 (火)

【発行】島嶼産業研究会 事務局
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部内
k9650024@fish.kagoshima-u.ac.jp
TEL 099-286-4291
FAX 099-286-4297
<http://international-islands.jimdo.com/>

ごあいさつ

無事、第 13 回・勉強会は終了いたしました。対面・オンラインを合わせると 50 名を超える参加がありました。日笠山様、伊原様、中村様、小山様、お忙しいところご講演くださり、ありがとうございます。ありがとうございました。

島嶼産業研究会 事務局

1. 第 13 回・勉強会

6 月 4 日 (土) 15 時より、鹿児島大学水産学部において第 13 回勉強会を開催しました。今回は島嶼コミュニティ学会との共催でした。立柳様 (福島県立医科大学) のご挨拶の後、第 1 部から第 3 部のプログラムに沿って会を進めました。

第 1 部 : 「甑島の産業振興を考える」

鹿児島大学水産学部 鳥居享司

まず、鳥居より第 1 部の趣旨、甑島の概要や漁業が直面する課題の説明が行われた。その後、対話形式で日笠山誠氏 (日笠山水産)、伊原友寛氏 (Office IHARA)、中村詩織氏 (食育プロデューサー) から漁業経営や地域経済の浮揚に向けた活動について紹介があった。甑島で漁業を営む際の課題、経営振興に向けた取り組み、日笠山氏と伊原氏と中村氏の協働内容、SPA 事業と六次産業化の相違、一般社団法人・甑島社中の結成への思いと今後の活動予定などについて議論した。そして参加者の皆様と質疑応答を通じて、今後の活動に向けたヒントをたくさんいただきました。参加くださった皆様、ありがとうございました。

第 2 部 : 東京の島しょ医療、ここだけの話

東京都立広尾病院 内視鏡センター長

小山 茂

東京の島しょ医療に関連したお話を致しました。

[1] 東京の島しょ紹介 : 伊豆諸島・小笠原諸島の医療機関及び島しょ基幹病院としての広尾病院の役

割について紹介。

〔2〕救急搬送症例：年間 200～250 例の緊急航空機搬送について、歴史やシステムから最近の“海洋関係症例”や天候不良にて鹿屋基地に着陸した事例など紹介。

〔3〕くさやにまつわるエトセトラ：かつて枕崎でも生産されていた水産加工食品「くさや」について、食品微生物学からの業績を提示し、臭気成分の一つトリメチルアミンについて、関係する代謝疾患や腸内細菌の作用と相まって慢性疾患に関連する臨床医学的知見を紹介。

〔4〕最近の取り組み：①画像伝送システムは更新を重ね、10 年以上前に導入されたウェブ会議機能は 2008 年から当院開催の「島しょ医療研究会」ほか、現地医療機関との意見交換に活用されてきた。今春より 5G を見据えた実証実験が開始された。②輸血剤の迅速な適正使用のため 2014 年より小笠原で運用開始されたブラッドローテーションシステムは、奄美大島の県立大島病院を始め他県の医療機関にも導入され成果を上げている。

質疑応答も活発で大変手応えを感じました。ありがとうございました。



日笠山様、伊原様



小山様

第 3 部：各自の研究内容・関心事項の紹介

第 1 部、第 2 部で発言されなかった参加者を中心に、それぞれの関心事項について紹介いただきました。皆様方の関心事項や研究内容について改めて知ることができました。これをきっかけに、会員同士の研究交流や共同研究も盛んになればと思います。

ります。

第 4 部：交流会（中止）

残念ながら今回も交流会は中止となりました。次回こそは、皆様と一献しながら、ゆっくりとお話していただける機会を設けることができたらと思っています。